

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅱ-1-7  
災害に強い県土づくり

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 砂防課長 若槻和浩 電話番号 0852-22-5205

事務事業の名称	雪崩対策事業	
目的	(1) 対象	雪崩危険箇所に住する住民並びに住家等
	(2) 意図	雪崩災害に対し、県民が安全に暮らせる環境を整備する
事業概要	・雪崩危険箇所の雪崩災害防止のため、交付金事業により、擁壁、予防柵等の雪崩防止施設の整備を行う。	

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	雪崩危険箇所に対し、雪崩災害防止対策を講じた箇所の保全される人口の累計	目標値		489.0	489.0	489.0	489.0	人
	式・定義	前年度までの保全済み人口数+当該年度概成箇所の保全人口	取組目標値						
			実績値	489.0	489.0	489.0			
			達成率	-	100.0	100.0	-	-	%
2	指標名		目標値						
	式・定義		取組目標値						
			実績値						
			達成率	-	-	-	-	-	%

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	0	0
うち一般財源 (千円)	0	0

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- ・県内の雪崩危険箇所525箇所のうち、平成29年度末までに整備を完了した箇所は16箇所と未だ低い水準（整備率3.0%）にある。
- ・近年、降雪量の減少傾向のためか雪崩による被害発生がない。

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

- ・雪崩災害から県民の生命・財産を守るため、県内の雪崩危険箇所525箇所のうち、平成29年度末時点で16箇所の整備を完了した。

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

### ①困っている「状況」

- ・県内の雪崩危険箇所525箇所のうち、平成29年度末までに整備を完了した箇所は16箇所と未だ低い水準（整備率3.0%）にある。

### ②困っている状況が発生している「原因」

- ・近年降雪量減少のためか雪崩対策事業の要望が出て来ない。
- ・現状の限られた予算の中では、雪崩対策に予算配分をしていない。

### ③原因を解消するための「課題」

- ・未整備箇所は依然として多く残されていることから、未対策の雪崩危険箇所の危険度の把握を行う必要がある。

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- ・近年降雪量減少のためか雪崩対策事業の要望が少なくなってきており、平成26年度以降は事業を行っていないが、未対策の雪崩危険箇所の危険度の把握を行い、事業実施について検討する。
- ・ソフト対策として、引き続き市町と連携し雪崩危険箇所の県民への周知や避難体制の整備などの対策を推進する。